

人材育成支援業務

【仕様書】

1. 委託業務名称

人材育成支援業務

2. 業務委託の趣旨

令和4年5月に、神戸市による外郭団体に見直しに伴い、当社は、まちづくり機能を他団体に移管し、住宅・住環境事業及び公益施設整備・保全事業に特化した団体に再編された。新たな中期経営計画を策定し、内外に対して、設置目的や社会的意義等を示すなどの取組を行ってきた。一方、他団体への職員の転籍等により職員数が減少するとともに、事業構成や組織体制など、職員にとって環境が大きく変化した。

令和5年9月に、職員にヒアリングを実施したところ、人材育成やキャリア形成等に関する意見が多く寄せられた。（注：別紙資料参照）

「質の高い住環境・施設環境づくりを通じて市民の豊かな生活に貢献する」という当社の使命を全うするために、中期経営計画の達成に向けて、職員各自がそれぞれの職場で能力を十二分に生かしていく人材育成に注力し、引いては当社の社会的意義をさらに高めていきたい。

専門分野の知見や経験を有する事業者による支援により、効果・効率的に成果を着実に上げたいと考えている。

注：別紙資料は参加申込書【様式1】提出後に電子メールにて送付します。

3. 委託業務内容

(1) 「2. 業務委託の趣旨」を踏まえ、当社の人材育成上の課題に基づいた人材育成やキャリア形成に係る下記事項を含めた解決策の提案、実施に向けた企画立案、より効果を高めるための助言等

- ・人材育成方針策定に対する支援

幹部職員を含め、全職員が関わって策定する過程や策定後の意識づけ等が重要である。他団体の事例等も参考にしながら、当社の設置目的や社風等にマッチし、現在の職員の意識に浸透しやすい方針の内容や意識づけの手法等の提案等を行うこと

- ・各部門が目指す目的達成に必要な部門ごとに必要な資質・能力・スキル策定に対する支援

各部門に所属する職員が身につけるべき資質・能力・スキルをそれぞれの職員が身につけなければならないと意識づけることや、自分に合っ

た目標を設定していかななくてはならない。そのため策定手法や当公社幹部及び各部門の所属長から担当者まで全職員が向上心をさらに高められる手法等について、提案等を行うこと

- ・部門ごとに必要な資質・能力・スキルに沿った研修や自己啓発等の体系化及び具体化に対する支援
企画立案、実施の際や職員が能動的に自身を高めるために、各職場でそれをバックアップできるような助言等を行うこと

(2) スケジュール及び体制に関する提案

- ・令和7年度までの当公社のスケジュール案（別紙資料参照）を踏まえ、令和6年度末までに優先的に実施すべき具体的な内容や詳細なスケジュールを提案すること
- ・本業務を着実に遂行できる人員体制（責任者・主担当等）を提案すること
※見積額を踏まえた出務の頻度もスケジュール案に記載すること
※オンラインによる支援も可であるが、当公社への出務との割合等も記載すること
※当公社体制は3名（課長・係長・担当者。他の業務も兼務）

(3) 支援業務に関する特記事項

- ・職員の負担にも考慮した上で、できる限り職員を巻き込んだ意思形成に関しても積極的に助言すること
- ・当公社内のコミュニケーションの充実にしても積極的に助言すること
- ・人材育成に効果的な人事制度に関しても積極的に助言すること
- ・人材育成に関する経営上の課題に関しても必要に応じて助言すること

(4) 類似業務の実績

- ・本業務と同様、もしくは類似した他団体における人材育成やキャリア形成等の支援業務の実績（団体数、案件数、業務名）について記載すること
- ・特に、外郭団体・公的団体における人材育成やキャリア形成等の支援実績については、概要についても記載すること

4. 委託期間 契約締結日～令和7年3月31日

5. 契約金額の上限額 5,500,000円（消費税及び地方消費税を含む）

※当公社理事会等における令和6年度予算の承認を前提とします。